

令和2年度 算数少人数指導（3年～6年）の授業について

練馬区立泉新小学校

算数少人数指導担当

1. ねらい

児童の学習状況に応じて学年を解体し、集団を少人数に分けて、きめ細やかな学習を展開し、一人一人の確かな学力の定着と伸長を図る。

2. 方法

○学年を4分割し、授業を行う。

○レディネステスト（既に習っていて、次の学習に関係している内容の確認テスト）を行い、それを基にコース分けを行う。

3. 少人数指導の良さ

- ・ 普通の授業よりも人数が少なくなるため、きめ細やかな指導を受けることができる。
- ・ 学年の教員全員が、学年の児童全員の指導に当たることで、複数の目によって、児童の良さが引き出される。

〈均等分割型〉・・・学年を習熟度が同じになるように4分割する。

（習熟度にあまり差がない単元や短い単元）

例：作業が多い図形の単元等はこちらに入ることが多い。

○少人数の中から多様な意見を取り上げることになるので、一人一人の発言の機会が増える。

〈習熟度別型〉・・・習熟度に合わせて、学年を4つのコースに分ける。

○自分に合った進度や内容で学習することができる。

例：ゆっくりコース・・・*これまでの学習内容を忘れてしまっている場合、思い出しながら分かるまでじっくりと問題に取り組むことができる。

（1～2クラス）

*学力向上支援講師がT2として入るため、さらにきめ細やかな指導を受けることができる。

例：のびのびコース・・・*上記3「少人数指導の良さ」参照

（1～2クラス）

例：ぐんぐんコース・・・*多くの練習問題を解き、たくさん演習することができる。

（1～2クラス）

*応用問題にチャレンジすることができる。